

越後ジャーナル

発行所 越後ジャーナル社
新潟県三条市西本町寺
2丁目1番1号
代表：鈴木隆吉 6部課
TEL (0256) 35-2290
FAX (0256) 35-3575
E-mail echigo@ejnada.ne.jp

定価 1か月 1050円
1号 50円
http://www.paige.com
情報 ☎35-2290
編集 越後ジャーナル社

100人以上の申し込み

TSO説明会、燕商工会議所

燕商工会議所工業部会
(山形県支部)は10日
午後七時から、同商工会議
所二階大ホールでTSO説
明会を開催した。

「TSO(ツバメ・スタ
ンダード・オーガニゼー
ション)」は、品質管理の
世界的なルールとして知
られ、現在、多くの企業が
取得に心をもっている。I
SOの概念とも異なる独自の
品質管理基準を設ける全
國的にも珍しいユニークな
試み。

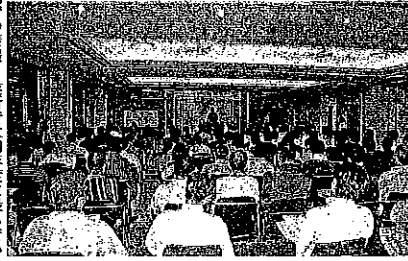
ISO9001などの取
得については、多くの事業
所が取得に心を掛けてい
るものの、認証を得るため
には財政的、人的に大きな
コストがかかることから中
小の事業所では二の足を踏
むケースが少なくない。そ
こで、同商工会議所で独自
の審査基準を立ち上げ、認証
審査員を立ち上げ、認証
しようというものである。



講師の大山さん

料金は、ISO認証が、
認証費用とコンサルティ
ング費用などを合わせ、通
常、百人以下の事業所でも
初年度に百八十万円から
三百万円ほどは要するケ
ースが多いのに対して、TS
Oの場合、二十人以下の事
業所では初年度に最も安い
パターンで二十七万円で済
む。基準はISOに準拠
し、認証アドバイザーには
外部のコンサルタントを招
へい、それ以後は同商工会
議所内で作る審査委員会
で審査するためにコストを大
幅に削減できる。

反面、手続的な側面など
から、今年度に取得可能な
事業所は燕市と周辺自治
体に限られるなどの制約も



ISOとの違いは、ISO
の認証の基準に含まれる人
材教育やマネジメントに関
する分野を省き、顧客が求
める製造現場、品質保持、
トレーサビリティなどの製
品に関わる部分に特化させ
ている点。

見られる。
当日県内から百人以上

あすの朝刊休みます
きょう14日は新聞製作を休み、あす15日
(月)の朝刊は休刊とさせていただきます。
ご了承ください。

越後ジャーナル社

の申し込みがあり関心の高
さをうかがせた。
講師は市内のいくつかの
事業所をISO取得に導い
た実績から、今回TSOア
ドバイザーに就任した關T
BCンリー・ジョンズの大
山俊一朗さん。「TSOで
は現場に直接関係ないとい

るは排除、現場に関わり
あるところだけを抜粋し取
りまとめている」としたほ
か、「もちろん、みなさん
の会社でも企業としてやる
べきことはしっかりやって
いると思う。しかし、書面
に起こしていないケースが
多々見られる。そして一番

問題になっているのが、受
注変更の管理。この部分を
徹底的に管理しているとい
うことはなかなか見られない。
受注の変更で伝達もれが起
き、トラブルが発生するこ
とも少なくない。ここを徹
底することがISOやTS
Oの肝になっている」と説
明した。

説明会終了後の閉会あい
さつで山後部会長は「今、
食品の世界では安全・安心
が価値として求められてい
る。我々製造業にとっても
それは品質管理だ。しかし、
難しいのは、出すべきもの
がなければ、現場に来ても
たい難題を解決するしかないとい
うこと。そこで遠方、たと
えば北海道の取引先は取引
を断念してしまうケースが
見られる。そのためにも、
この日本初の基準をみなさ
んにアピールしてもらい



細山